

和敬塾塾友会北陸支部 金沢で新春の集い、18名参加

和敬塾・塾友会北陸支部の新春の集いが2月15日、金沢市駅西新町の業香楼新館で開かれ、18名が参加した。

石坂修一支部長(前石川県議、県日中友好協会会長、昭50年西寮卒)が「本日、塾友会本部の台湾支部が開設される日です」と歓迎の挨拶、西田良春氏(昭45年南寮卒)が乾杯を発声し宴席に



羽咋高校20回生

(右から) 中村洋行、高見等、有川雪子、赤池清
(枠内) 右から南雄二、大橋茂

=東京・KITTE 丸ノ内、2025年2月8日

われら同期の桜

入った。

辰巳平一氏(昭47年西寮卒)や県トラック協会副会長(北陸貨物運輸会長の山田秀一氏(昭51年北寮卒)が大の里の応援をしている話で盛り上げ近況を報告。JA石川県中央会代表理事の西沢耕一氏(昭51年南寮卒)が日

本の農業の現状について、前支部長の森本栄史氏(昭52年南寮卒)が、小松市公平委員会委員長など7つの役に汗をかいていると語った。

今回一番の若手の参加は、竹松投資アドバイザー(株)の竹松祐貴氏(平成26年西寮卒)でした。

昭和43(1968)年に羽咋高校を卒業した20回生、団塊最後の世代で同期生44人。1月26日の石川県人会総会で同期の中村洋行が専務理事に就任、震災後の今、十分に力を発揮して貰おうと東京駅前KITTEビルに集合した。

中村洋行は北海道大学工学博士、1建築士で東急建設技研室長、建造物耐震診断のコンステック社長を経て今度は郷土のために奮闘する構え。宝達志水町出身。

高見等は大学卒業後、不動産会社に勤務、昭和50年に羽高同じクラス仲間の赤池清、中橋外志満と3人で(株)羽興を設立し、現在建築・不動産羽興建設(株)代表。高校時代は野球部マネージャー。趣味は読書。羽咋市出身。

有川雪子(旧姓野崎)は、高校時代に書道部在籍。社会人になり横浜市民マラソン壮年の部、3位になり、キャリアを生かし陸連の審判員

を務めた。現在は永年責任者として関わってきた放課後児童育成業務を退き、学んだことを通しこれからも努力する。関東羽咋会副会長、県観光特使。羽咋市出身。

南雄二は早稲田大卒業後、日本ヒューレット・パッドカード入社、光マインクロウエーブ半導体営業部、国際調達部に勤務。退職後は地域の自治会長、防災、防犯、子供、高齢者・IT支援を任せられる存在。羽咋高校関東副会長、県観光特使。志賀町出身。

大橋茂は神戸大学卒業後、丸紅に入社、札幌勤務の後、20代後半からロッキード事件で撤退した航空機部門の再建に携わり、ニューヨーク駐在を経て宇宙航空機部長、丸紅エアロスペース社長、会長。退職後はゴルフ、全国の城巡り。志賀町出身、千葉県船橋市在住。

赤池清は高校時代に理数科にいた。部活はハンドボールで女子はインターハイ常連だが男子はたまにしか勝てなかったが沢山の仲間が出来た。田舎にバイクSSTRなどに貢献したい。趣味は麻雀、将棋。宝達志水関東ふるさと会副会長、いしかわ観光特使。

(文中敬称略、文責・赤池清)

石川県人会の新専務理事に 中村洋行氏（宝達志水町出身）

石川県人会は12月9日、都内の都道府県会館で開いた第4回理事会で新田義孝専務理事が退任し、後任に1級建築士の中村洋行理事（74）＝宝達志水町出身＝を選任することを内定した。また、新田氏が兼務していた総務委員長には山上徹氏（同志社女子大名誉教授、ふるさと関東羽咋会会長）が就く。1月26日に開く総会・新年祝賀会で正式に決まる。

中村氏は羽咋高、日大理工学部建築学科修士、北海道大工学部理工学研究博士課程修了。東急建設技術研究所室長、コンステック代表取締役などを経て現在、U R総研顧問。

立教、同志社大卒業生組織が連携 金沢で集い、約100人参加

立教大の卒業生がつくる石川立教会と同じく同志社大の同志社校友会石川県支部が12月19日、金沢市のホテル日航金沢で「締結の集い」を開き、両大卒業生約100人が連携して交流すること

を申し合わせた。

両大学はキリスト教主義の教育を掲げていることで共通しており、立教大は24年に、同志社大は25年に創立150周年を迎える。昨年5月に両大学が連携協定を結んだことから石川の卒業生組

われら同期の桜

4人は輪島高校を1999（平成11）年3月に卒業した51期生。3年時に能登空港が輪島市三井町で着工しており、ふる里の発展を期して進学や就職した者が多い。1980年度生まれのいわゆる「松坂世代」で、40代半ばの働き盛り。51期生161人いるが、今回、東京輪島会の総会・懇親会に出席した4人が顔を揃えた。

3人が輪島市河井町、中谷健1人だけ町野町に実家があり、いずれも実家が被災した中、支援、応援しようと誓い合った。

荒川信行は、慶大理工学部同大学院を修了後、世界最大級のコンサルティング会社「アクセンチュア」を経て、東大発のベンチャー企業であるセレイドセラピューティクス（株）を創業。「造血幹細胞」を使った新しい細胞治療の開発を進める。

組織も対応した。

石川立教会の砂塚隆広会長、同志社校友会県支部の横川浩信支部長が挨拶、立教大OBの小田禎彦氏が乾杯発声、同志社大OBの中山賢一氏が中締めた。

小西秀晴は輪島高で野球部に所属、進学先の東海大（工学部）で野球部マネージャーだったスポーツ好き。都内中心に酒販200店を展開、通販・配達もする「カクヤス」の浅草店に勤務、持ち前のバイタリティーを発揮している。

中谷健は成城大法学部を卒業後、大手信託銀行に入行。現在は某大手メガバンクに勤務。都内店舗や名古屋勤務を経て、現在は大阪本部所属にて、単身赴任をしながら富裕層や中小企業オーナーを対象に事業承継、資産承継に関するコンサルティング業務に従事し活躍している。

青地美帆は石川県庁に勤務後、家族の転勤を機に上京。現在、東京輪島会の坂本哲会長が経営する四季建築設計事務所に勤務。2020年から東京輪島会の事務局長を務め、能登震災の義援金集めなどの世話役に奮闘中です。

（文中敬称略、文責・青地美帆）



輪島高校 51 期生

（左から） 中谷健、小西秀晴、青地美帆、荒川信行
＝ 2024 年 11 月 23 日、東京都文京区・東京ガーデンパレス